

合同会社 えがお

～令和8年1月21日(水) 訪問～ 【佐伯市】



合同会社えがおは、高齢者や障がいのある方、子育て世帯など、さまざまな立場の人が交流できる地域の「集いの場」づくりに取り組んでいます。シェアハウス「支え愛ホーム きよちゃん家」では、一人暮らしが難しい方々が助け合いながら共同で生活をしています。現在、4世帯5名が入居しており、地域住民や専門職の協力のもと、安心して楽しい暮らしが実現しています。入居者からは、一人暮らしの寂しさが和らいだこと、家族のような温かい関係ができていくことへの感謝の声がありました。

懇談では、認知症と診断された方や障がいがある方が、それぞれに役割を持って互いに支え合って生活していること、誰でも参加できる昼食会の開催などこのシェアハウスが地域に開かれた交流の場となっていることを伺いました。子育て中のお母さんやこどもたちも訪れ、世代を超えた交流や笑顔が生まれる場となっています。お出かけ支援や、就労が難しい人々が働く機会を作るため、お弁当の販売事業を拡大する構想もお聞きしました。

今後も、住み慣れた地域で、自分らしく、支え合いながら暮らしていける共生社会に向けた拠点づくりの取組が広がることを期待しているとお伝えしました。



関連分野における県の施策 (令和8年度)

☆事業名：地域未来創造総合補助金

事業概要：人口減少が急速に進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額：5億円

☆事業名：障がい者就労環境づくり推進事業

事業概要：障がい者の希望や特性に沿った就労を促進するため、障がい者雇用アドバイザーによる企業訪問や職場への定着支援に取り組むほか、新たな雇用モデルの実証や職場実習に参加する障がい者に対し奨励金を支給

予算額：8,850万円